

授業 科目名	【G】	特殊講義(国際組織法Ⅱ)	区 分 選 択	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【EF】	特殊講義(国際組織法Ⅱ)			【EF】3		【EF】2
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単 独	【G】					
		【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブ タイトル	国際連合の活動と法			担当者	青木 隆		
授業概要	【概 要 】	この科目では、国際組織法Ⅰにおいて学ぶ国連の静態を踏まえて、国連の実際の活動について、特に国際社会の平和と安全の維持を任務とする安全保障理事会の動向を中心に講述します。					
	【到 達 目 標 】	国連特に安保理事会による紛争や事態の処理に理解を深める。					
履修条件	前期開講の「国際法Ⅰ」及び「同Ⅱ」を履修し単位を修得していること。加えて「国際組織法Ⅰ」との並行履修が望ましい。						
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)					
他科目との 関連性	「国際法Ⅰ」、「国際法Ⅱ」及び「国際組織法Ⅰ」の延長上にあります。						
教科書	本講の内容に適した「教科書」は出版されていないので、特定の書籍を指定しません。国際連合憲章(学習用六法に掲載)の条文が必要です。前期「国際法」で利用した『国際条約集』はここでも役立ちます。						
参考書	初回の講義にて概要を解説したうえで、進行に応じて指示します。						
評価方法	原則として筆記試験(自筆ノート、配付資料及び条文のみ持ち込み可)の成績により単位認定および成績評価を行います(100%)が、受講態度(100点満点で10点まで)も加味する場合があります。オンラインで開講させる場合には、変更があり得ますので、初回講義での説明をよく聞いて下さい。						
フィードバック 方法	質問は随時受け付け、可能な限り速やかに回答します。試験またはレポートについては、模範的な解答例を表示します						
評価基準	試験において講義内容を理解していることを示したと認められる答案には「A」(うち特に優れたものには「S」)、理解や表現に不足があるものはその程度に応じて「B」または「C」、設問または講義内容の理解が著しく劣るものはその程度に応じて「D」または「E」(ともに不合格)とし、これに受講態度(質問票への記述の量および質(試験の評価基準に準じる。))に基づく。)を加味して受講者の評点とします。(未受験は「F」。)						
その他	講義の進捗を受講者の理解度や希望を勘案して調整しますので、学期中にすべての項目が扱えない場合があることをご了承下さい。						

授業科目名	【G】	特殊講義（国際組織法Ⅱ）	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【EF】	特殊講義（国際組織法Ⅱ）	選択		【EF】3		【EF】2
授業回数	授業内容						
1	序:参考文献、授業の内容や取り組み方の詳細など						
	予習:	このシラバスを通読して疑問点を探す。(90分)			復習:	疑問の解消を確認する。(90分)	
2	憲章規定の再確認:安保理の任務と権限						
	予習:	憲章第5章の通読。(90分)			復習:	総会と安保理との権限配分を理解する。(90分)	
3	国際社会における法と力						
	予習:	憲章第7章の通読。(90分)			復習:	安保理の「権力」について理解する。(90分)	
4	「朝鮮戦争」平和のための結集:総会との関係						
	予習:	朝鮮戦争を調べる。(90分)			復習:	決議の位置づけを確認する。(90分)	
5	冷戦と安保理の機能麻痺						
	予習:	冷戦の意味を調べる。(90分)			復習:	超大国と拒否権について理解する。(90分)	
6	平和維持活動						
	予習:	PKOの意味を理解する。(90分)			復習:	復習:多様性を把握する。(90分)	
7	中東問題と国連安保理						
	予習:	パレスチナ問題を調べる。(90分)			復習:	国連の関与について把握する。(90分)	
8	「湾岸戦争」と国連安保理						
	予習:	「湾岸戦争」を調べる。(90分)			復習:	措置の性格と進行を理解する。(90分)	
9	武力行使容認						
	予習:	各決議の通読。(90分)			復習:	意義と実態を把握する。(90分)	
10	「イラク戦争」における国連安保理						
	予習:	前2回のノートを確認する。(90分)			復習:	両戦争での安保理の対応を理解する。(90分)	
11	「ユーゴ紛争」と国連安保理						
	予習:	ユーゴ紛争を調べる。(90分)			復習:	復習:設置された法廷の実態を理解する。(90分)	
12	国際刑事法廷						
	予習:	東京裁判、ニュルンベルク裁判を調べる。(90分)			復習:	旧ユーゴスラヴィア国際刑事裁判所を理解する。(90分)	
13	ICCとの関係						
	予習:	ICC 規程第2部の通読。(90分)			復習:	ICCと安保理の関係を理解する。(90分)	
14	対テロと安保理の今後						
	予習:	テロの意味を調べる。(90分)			復習:	2001年からの変容を理解する。(90分)	
15	まとめ						
	予習:	ノートを通読し、疑問点を探す。(90分)			復習:	講義の全体像を把握し、目標到達を確認する。(90分)	

科目コード B622-2-X